

障害者の就労支援について 「ペア・グループ就労」

社会福祉法人

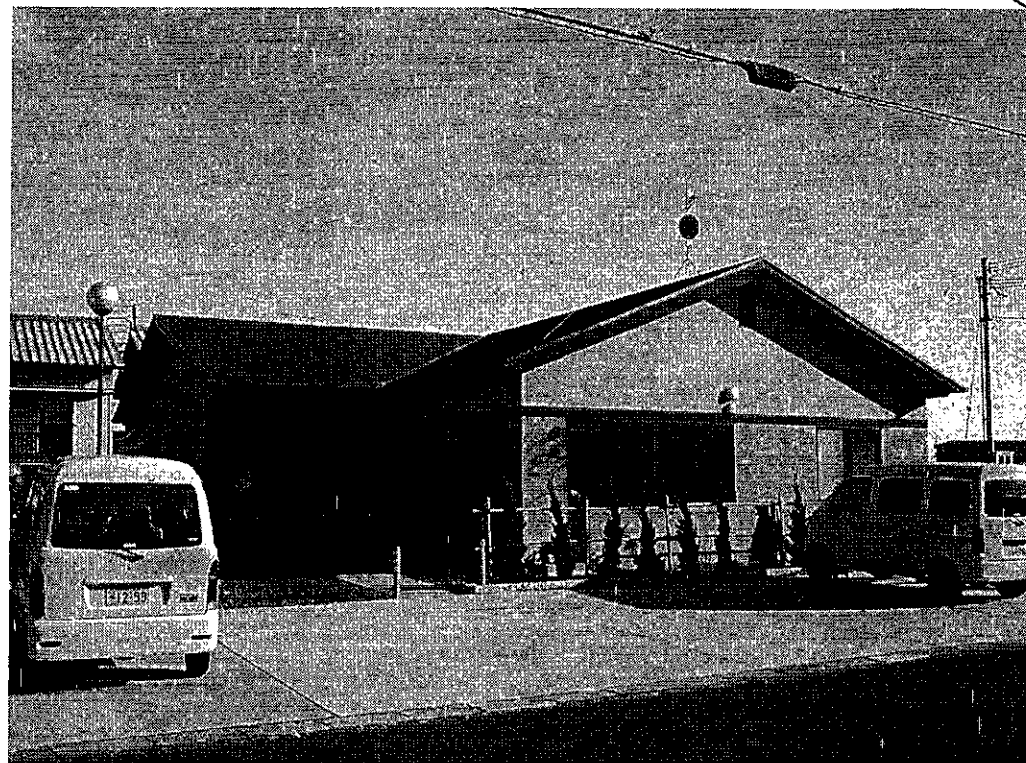
福祉会

和歌山県

紀南障害者就業

紀南障害者就業・生活支援セン

平成17年4月1日 開所



田辺市内に900㎡の土地
に231㎡の就業センターを
建設。土地については田
辺市より借賃貸与。

職員構成

所長

就業支援ワーカー

生活支援ワーカー

ジョブコーチ

調理・GH世話人

和歌山県3カ所の就業センター設置

後、2カ所設置予定

県下に就業センターのネットワークをつくり障害者がどこで住んでいても就労支援を受けられることができるシステム作りを目指す。

紀南障害者就業生活支援センター指定圏域

1市5町

平成17年9月(現在)

人口 14万2000人

大阪市とほぼ同じ面積
保健所管内と労働分野の
エリアが交差する広範囲
な地域

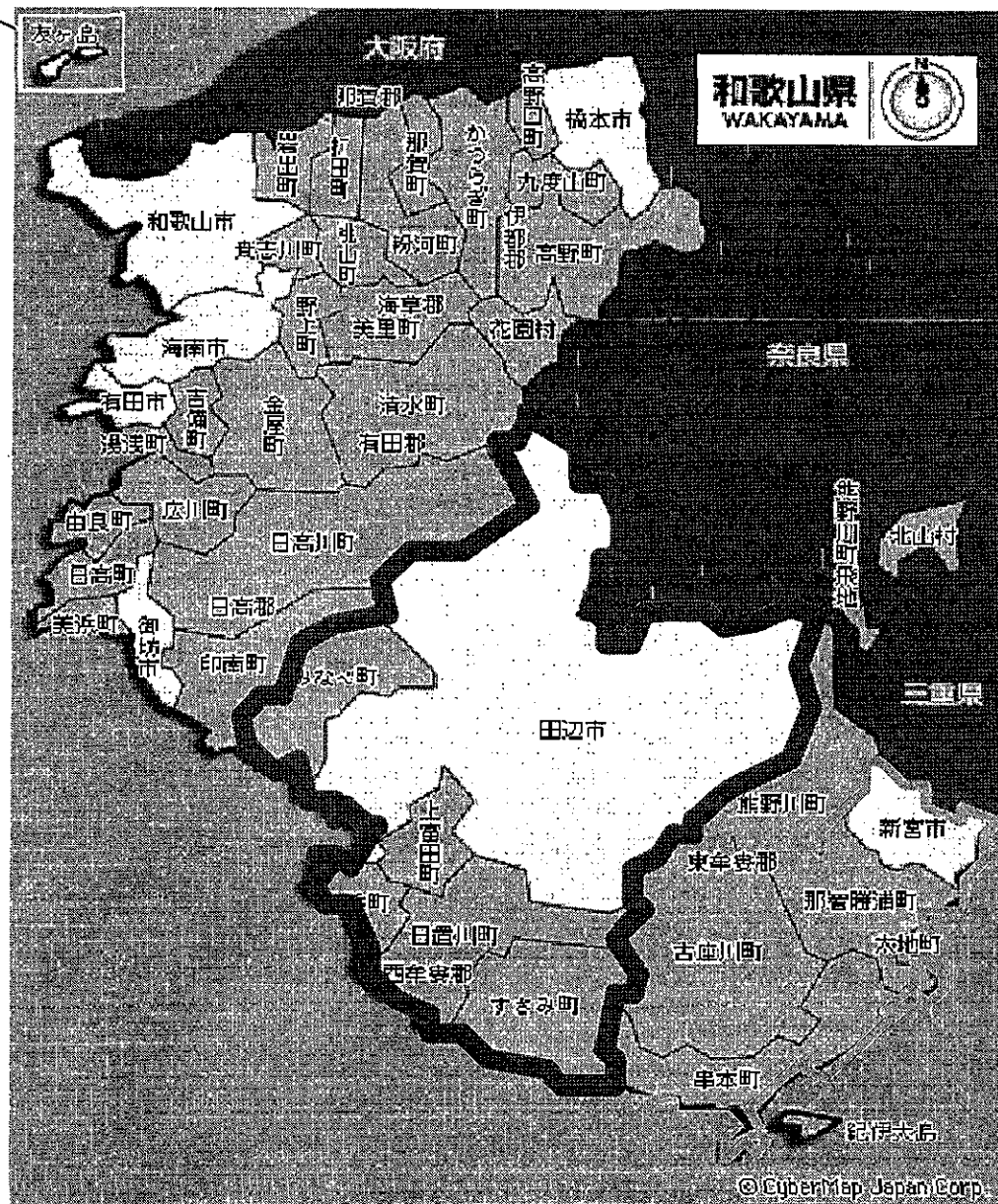
近年、過疎化が進んでいる
地域である。

基幹産業

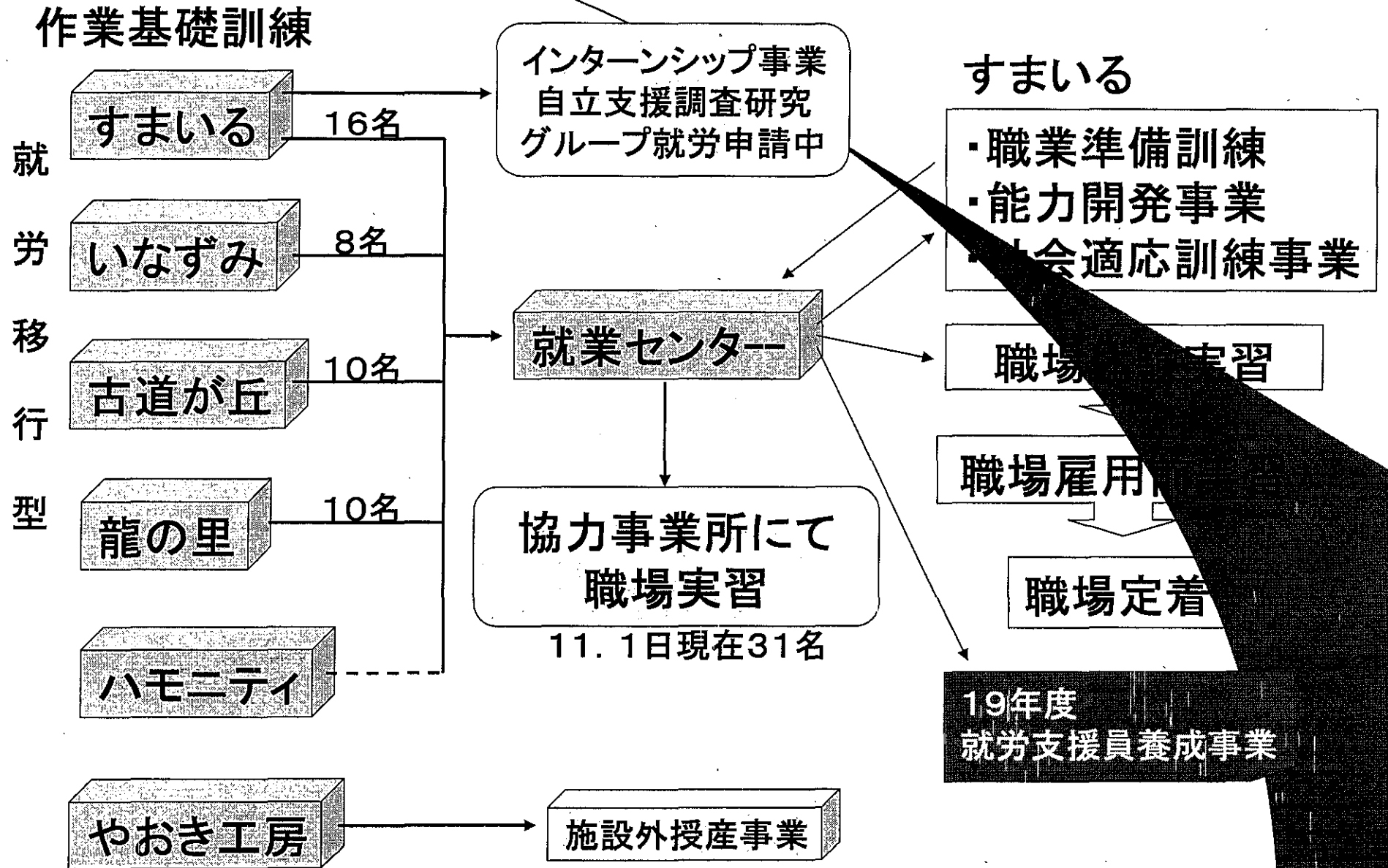
- ・観光
- ・漁業
- ・梅生産業

平成18年

40社以上の事業所で
障害者雇用が図られている。



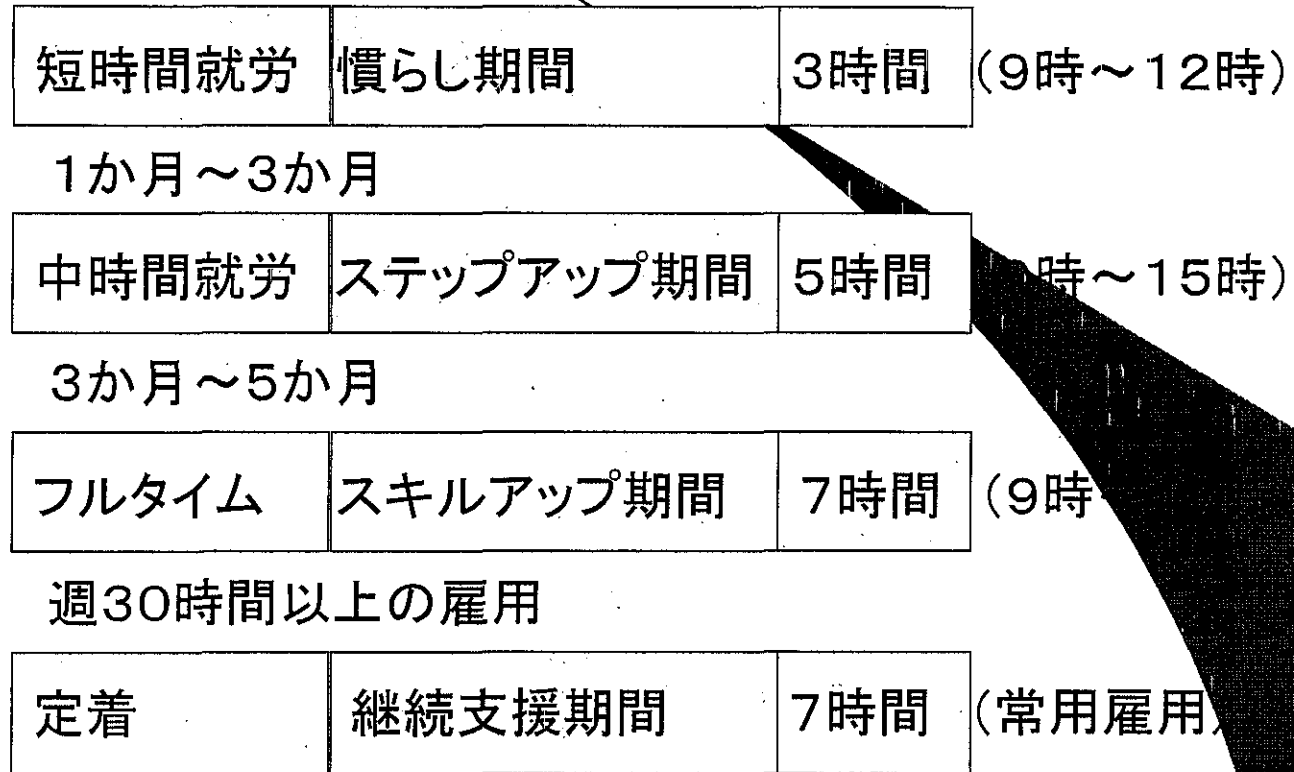
就労支援システム



基礎的な作業訓練(2)

当初は不安やプレッシャーを和らげるために短時間就労

・事業所にて



- ・いずれの期間においてもジョブコーチと企業での設定した勤務時間であるが個人の作業能力によってケースを変更する場合がある。
- ・単労・ペア・グループ就労についても同様のパターンが基本となる。
- ・企業と就業センターの信頼関係で結ばれた就労なので利用者の都合による自由出勤は認めない。

就労支援ネットワーク

本人・家族

就労相談

紀南障害者
就業・生活支援センター
(就業支援ワーカー、ジョブコーチ)
8名
すまいる就労支援員
2名

事業所

- ・1ヶ月～2ヶ月間 実習
- ・短時間勤務
- ・ジョブコーチ派遣
- ・支援ワーカー派遣
- ・事業所との調整

連絡会議

職業安定所

地域職業センター

養護学校

NPO法人

連絡会議

医療機関

社会福祉協議会

自治体

授産施設(7ヶ所)
職業準備訓練

作業所では作業能力・服薬管理
集団生活

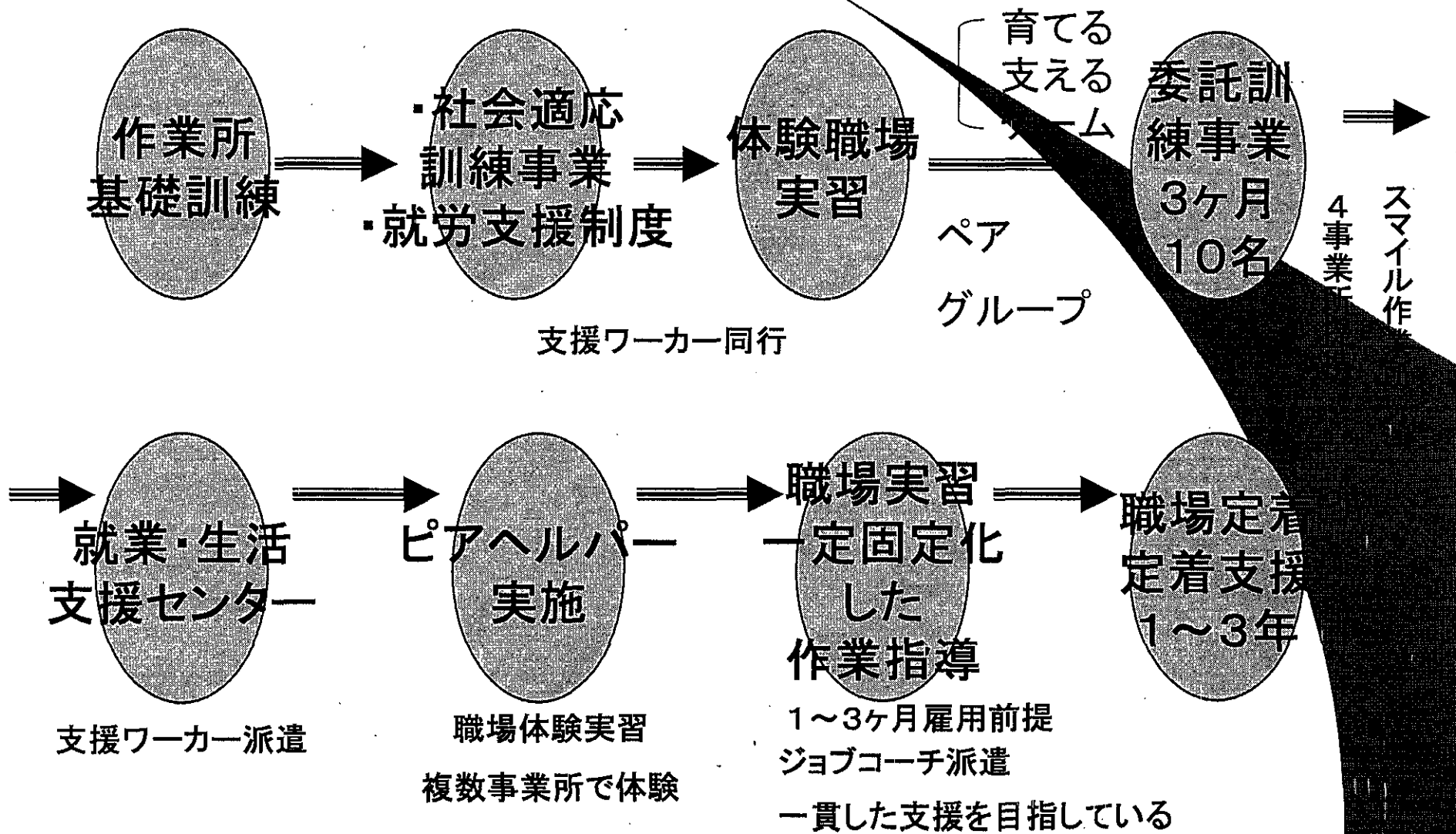
社会適応訓練協力事業所

午前、短時間就労3H
午後、複数事業所で職場実習

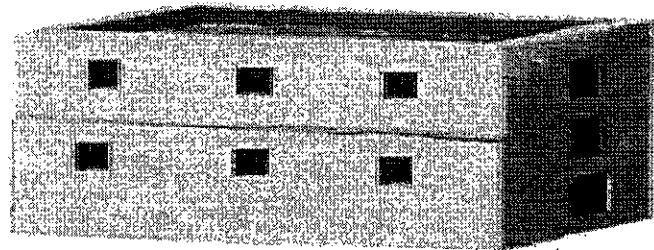
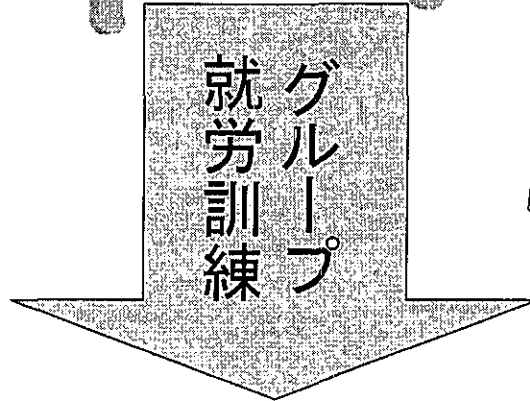
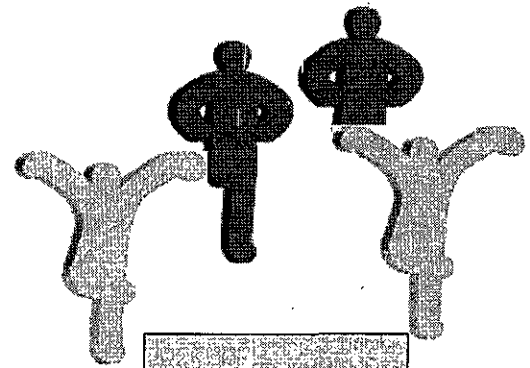
協力事業所連絡会議

47事業所

18年度 障がい者の就労支援体系



グループ就労訓練について

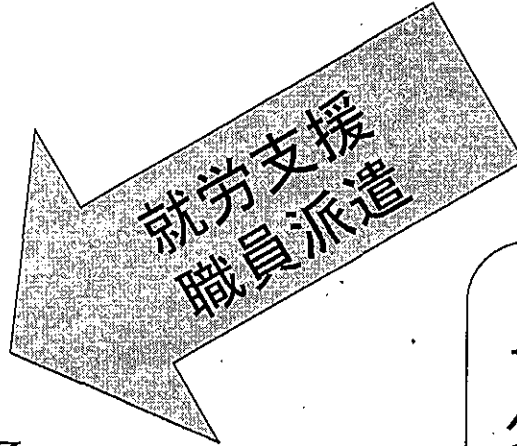
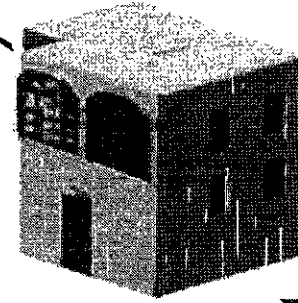


協力事業所にて
多種食品加工・販売・出荷など

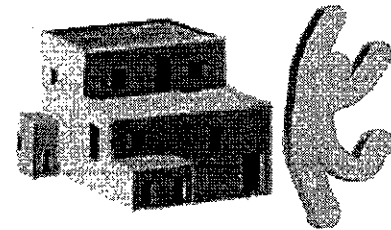
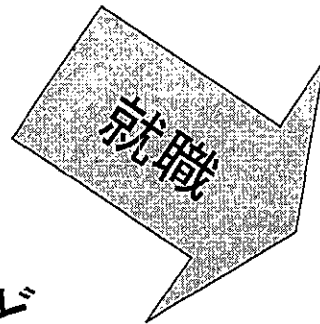
基礎作業訓練



すまいる作業所



18年度より厚労省より施行
グループでの事業での訓練を
経て就労を目指していく...



グループ・ペア就労①

グループで働
く場合、継続し
て長く勤める
ことが容易
な着率も高

・職場での孤立を防ぎ不安を和らげる

グループ・ペア就労②

互いに励まし合い支え合っている。

仕事に迷いが、解らないとき手助けしながら根気よく説明を

(白浜町 土産物製造・販売)

- ・職場定着率が高く継続した職場勤務が出来る

グループ・ペア就労③

- ・職場での作業状態の把握ができ、ジョブコーチによる支援が比較的スムーズに出来る

グループ・ペア就労④

集団の抑止力が有り、離職しても結果として離職するケースがない。

職場で同じコーナーで働いているので仲間の仕事が分かりづらいため、休憩時に仕事の内容を話し合っている。

それが彼らの作業工程分析ではないか？

- ・職場内にメンバーが居ることで安心感がある

グループ・ペア就労⑤

○年度より厚労省にお
いて新たなグループ就
労制が導入されたが余り利
用され

・障害者職業能力開発訓練を終え実習～就職へ

グループ・ペア就労⑥

ペア・グループでの就労実習
件数は20数カ所の事業所で
実施している。

またグループでの実習が
高まれば単独での実習も
可能になる。

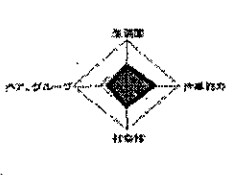
ペア・グループ就労の
は力の弱いメンバーを
グループで支え合える事であ

白浜町 菓子製造業

障害者委託訓練事業

氏名

5でできる 4だいたいできる 3普通にできる 2あまりできない 1まったくできない

項目	チェック欄	
生活面	①髪剃り・化粧、服装などの身だしなみが適切にできる ②金銭管理ができる ③定期的に通院し服薬が守れる ④交通機関を適切に使うことができる ⑤言葉遣いや態度、マナーができてい ⑥悩みや不安に思っていることを身近な人に相談することができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
作業能力	①適切な速さで一定の作業量をこなすことができる ②周囲の状況を判断して動くことができる ③気分によらず、仕事を継続することができる ④備品・用具の取り扱いが適切にできる ⑤手先を使うような細かな作業でも無難にこなすことができる ⑥仕事を継続して取り組める基礎的な体力がある ⑦重量物の運搬ができる ⑧仕事を効率よく進めるための工夫ができる ⑨一度に2～3の指示が出されても理解することができる ⑩指導していただいたことを覚えておくことができる ⑪安全性に気を付けることができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
社会性	①挨拶、返事が適切にできる ②敬語などの話し方が適切にできる ③人の話を聞くことができる ④自分の要求をきちんと伝えることができる ⑤規則を守ることができる ⑥やむを得ない遅刻、欠勤の場合に自分で適切に連絡ができる ⑦仕事について意欲を示し取り組むことができる ⑧わからない時指導者に適切に質問することができる ⑨指導・助言を受け入れることができる ⑩人と共同したり協力して仕事をすることができる ⑪報告し、次の指示を仰ぐことができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
ペア・グループ	①仕事がいまいきかないとき他の仲間に相談することができる ②時間内に仕事が終わらねそうになるとき手助けを求めることができる ③作業量が向上する ④悩みや不安に思っていることを仲間に相談することができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
課題		
支援のポイント		

三障害を対象とした小規模通所授産すまいる、紀南障害者就業・生活支援センターとの連携会議における施設内作業実習と、職場実習評価を基礎として、総合評価を作成する。

毎回受講生の90%の就職率

主な就職先

食品製造・ボタン製造・ホームセンター

クリーニング・リサイクル 等

終わりに・・・

和歌山県紀南障害者就業・生活支援センターは、
当事者の強い願いである、地域で安心して普通の生活を
したいその夢をかたちにしていくため、支援を行っています。